

12/13
五族



記者会見を開いた「くまもとネット」のメンバー＝5日、熊本市

市民と野党、結集へ

参院選50団体が統一候補要請

熊本

来年夏の参議院選挙にむけて、市民グループが野党とともに統一候補の擁立をめざす動きが全国各地で起きています。熊本県でも、安保法制（戦争法）に反対するため結成された「戦争させない・9条壊すな！くま

もとネット」が、5野党と二つの労働組合に候補擁立を要請。「保守王国」と呼ばれてきた熊本で全国に先駆けて擁立を実現させ、自らの運動とともに各地のとりくみを力づけたいと意気込んでいます。（遠藤誠二）

地方激変

参院選熊本選挙区 1人区。自民現職の松村祥史候補に新人が挑む構図です。2013年参院選での与野党の獲得票は、自民60%に対し、民主、共産の合計は40%。10年の参院選挙は、自民（松村氏）44%に対し、民主、共産、みんなの党の野党合計票は54%と上回っています。

安保法制廃止
立憲主義回復
7日、熊本市内の日本共産党熊本県委員会を、同ネットのメンバー（野田邦治、上野知明両氏）が訪ね、要望書を日高伸哉県委員長、松岡勝書記長に手渡ししました。要望書は、①集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回②先の国会で採決された11の安全保障関連法
の廃止③日本の政治に「立憲主義と民主主義をとりもどす」の3点を共通の目標として、野党各党が協議して、統一候補を擁立することを求めたい。さらに、熊本市は1人区であり、何

ります」（民主党県連）など、すべての野党、労組が前向きに応じました。くまもとネットは9月19日の戦争法成立後、それまで戦争法案成立に反対していた県内のさまざまなグループ、秘密保護法廃止の運動を続けてきた団体が結集。青年、女性、パパママたちとともに、憲法、平和、環境などさまざまな分野で活動する多様な県民が大同団結した形です。戦争法そのものと、立憲主義・民主主義を破壊する安倍政権に対する危機感、一方で市民と野党結集への期待感は衰えず、結成時（11月24日）11だった賛同団体は短期間に50にまで増え、「これからもっと増える」（ネット事務局）見込みです。（2面につづく）

